

他大学の数値目標(大学別)

法人化年度	中期目標	中期計画
H16	国際教養大学	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時におけるトータルスコア600点以上の取得 MTC(ミネソタ編入カリキュラム)基準に係わる科目40単位以上の取得 専門基礎科目等を含む専門科目の75単位以上の取得 卒業時の就職・進学率の100%の達成 論文著作等、各教員の研究業績は、毎年1件以上の確保 各教員は、毎年1回以上の公開講座の開催 年4回の地域課題講座の開催 一般選抜試験平均受験倍率:5倍以上(県内出身入学者:30%以上) 常時50名以上の留学生の確保
H17	岩手県立大学	<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパス時、授業を1週間公開(短大)
	首都大学東京	<ul style="list-style-type: none"> 専任教員の定数:530人、研究員の190人の早期実現 都は標準運営費交付金を毎年2.5%効率化係数で削減
	横浜市立大学	<ul style="list-style-type: none"> TOEFL最低達成水準(500点) ISO9001(付属病院において)とISO14001(付属病院及び大学施設)の取得を目指す コージェネレーションシステム導入も考えた省エネ:H22年度光熱水費10%減(H16比) 高度先進医療認定承認申請:H22までに10件以上 経常経費のうちの人件費の割合:H22に50%
	大阪府立大学	<ul style="list-style-type: none"> 3年以内にアドミッションオフィス(AO)入試を検討、実施 履修単位の上限を設定(前期・後期各25単位内) 大学のシーズ紹介フェア、シンポジウムをそれぞれ年1回開催 他機関による技術マッチングフェア等への年間20件の参加 図書館・図書室の貸出冊数12万冊を目指す 図書館・図書室の府民登録者数を4000人程度維持する 就職ガイダンス年8回実施 就職希望学生の就職100%を目指す 年間共同研究件数300件、受託研究件数150件 大学発ベンチャー創出件数15件を目指す 特許出願件数100件、及び特許権取得件数50件を目指す 知的財産マネジメントオフィスに知的財産関連の教育等を年間20回程度開催 教員組織のスリム化(8%の削減、H22.80名削減) 外部研究資金獲得:30%増加 事務職員等の人件費及び管理的経費5%削減 成績優秀学生:大学院の飛び入学実施(3年以内)
	北九州市立大学	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時:英検準1級又はTOEIC 650点、TOEFL 520点以上取得 大学志願者:6000名確保 秋季入学制度実施:H18目途 キャリア支援センター設置で就職率90%以上を目指す 外部研究資金獲得:年間5億円
	長崎公立大学	<ul style="list-style-type: none"> 運営費交付金をH22年度までに(H14長崎県予算の両大学分の一般財源より)20%削減、うち人件費は10%減 英語、中国語の各学科それぞれの数値目標を設定 方法/メディア学科:国家試験合格者5人以上 看護学科、栄養健康学科は国家試験合格率100% H17からインターシップの単位化開始 目標の就職率:90%以上 私費外国人留学生・交換留学生数:全学生の5%以上 人件費及び運営経費削減:実質2億円以上(H14比)
H18	札幌市立大学	<ul style="list-style-type: none"> 図書整備:移管本30,100+5,400、年度本5,900+6,500+7,400冊 大学法人運営に関する企画戦略業務サポート職員5名配置 学内委員会の数は常時15人以下になるようにする 教員の5年間任期制の導入
	秋田県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 県内学生の比率は3割以上を目標とする 進路決定率:100% 共同研究の受け入れは、年間20テーマ以上を目標とする
	福島県立医科大学	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験(医師95%以上、保健師95%以上、看護師100%)を目指す 就職希望者の就職率100%を目指す 県内病院・診療所との紹介率50%以上を目指す 教員研究活動評価委員回を3年に1度
	会津大学	<ul style="list-style-type: none"> 大学院課程への進学率40%を目指す 博士学位(博士号)の取得者数50%増加 専門科目教員の50%程度は外国人教員とする 就職希望者の就職率100%を目指す 大学発のベンチャー創出(会社数50%増加) 情報処理技術者試験の受験推奨 基本情報技術者試験合格率50% ソフトウェア技術者試験合格率15% 英語能力試験の受験推奨(80%の学生が受けることを目指す) 免許・資格取得希望者の取得率100%目標 大学院課程への進学40%目標 博士学位取得者数50%増を目指す 専門科目教員の50%程度を外国人教員とする 学生1人1台以上、24時間自由に利用できるコンピュータ利用環境の提供 就職希望者の就職率:100% 大学発ベンチャーの創出推進、会社数50%増加を目指す 英語で行う専門教育科目の講義を60% 主要学術論文の採択数を50%増(144件) 協定締結校15校目標 外部資金の50%増獲得を目指す 施設の一般開放(年間利用件数計40件)
	名古屋市立大学	<ul style="list-style-type: none"> 看護師、薬剤師、医師の国家試験合格率100%を目指す 就職希望者の就職率100%を目指す 科学研究費の申請件数20%増加(H23に450件) 共同研究100%の増加目指し、H23に年間30件とする 受託研究の件数10%増加しH23に年間100件とする 授業公開年間10講座以上 社会人大学院生受入数10%増加(H23に年間160名) 診療収入に占める医薬材料費の比率を33%以下を目指す 病床稼働率95%以上、平均在院日数20日以下、患者紹介率50%以上を目指す 派遣職員をH23までに250名の固有職員に切換えを図る 女子教員比率20%を目指す 外部資金20%増を目指す(H23に年間9億円以上)

他大学の数値目標(大学別)

法人化年度	中期目標	中期計画
H18	滋賀県立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・志願倍率を公立大学のトップ10を目指す ・2年終了時での英語力の20%以上向上(入学時比) ・国家試験合格率100%を目指す(H21) ・教員の採用は公募制による(100%) ・就職・進学合格率は100%を目指す(H23) ・研究領域に関するプロジェクト研究を毎年1以上立ち上げる(H18) ・外部資金の増額を目指す(H23) ・論文等著書等の発表数は年間600以上(H23) ・研究費の50%を業績評価による配分を行う(H21) ・各種研究表彰の受賞者数を毎年5人以上(H23) ・公開講座の受講者満足度90%以上(H21) ・地域交流看護実践研究センターの研究支援件数200件(H23) ・国・県・市町の審議会・委員会等委員就任者数200人(H23) ・受託研究費、共同研究費受入れ件数の増額(H23) ・大学発ベンチャー企業5件以上(H23) ・諸外国との学術交流・学生交流協定の増額(H23) ・外国人留学生数の増額(H23) ・授業料収入の100%確保(H18) ・危機管理や法令遵守に関連する研修を年1回以上開催(H18)
	大阪市立大学	
	和歌山県立医大	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒者の医師国家試験合格率95%以上 ・新卒者の看護師国家試験合格率100%以上 ・新卒者の保健師国家試験合格率95%以上 ・研究を推進するための組織を設置し、外部資金の獲得10%増 ・県民対象の公開講座を年10回以上提供 ・女性教員の割合を20%以上にする ・管理的経費年間1%削減
	山口県立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の80%以上が卒業までにTOEIC 450点以上を取得(H22) ・社会福祉士資格取得率50% ・精神保健福祉士資格取得率60% ・看護師、保健師、助産師の国家試験合格率100% ・管理栄養士資格試験合格率100% ・専門的に学ぶ学生は、TOEIC650点以上、中、韓国語は中級以上 ・就職・進学決定率100% ・年間3件以上の共同研究及び年間20件の受託研究の実施 ・科学研究費補助金その他の公募助成金について年間25件以上の採択 ・年2回程度の「生涯学習推進連絡会議」の開催 ・年2回程度の大学同窓会との情報交換の機会を設ける
	九州歯科大学	<p>【中期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の成績:良以上60%以上、学生による授業評価:4以上60%以上、個人業績評価(授業活動)B以上80%以上 ・国家試験合格率:全国10位以内、共用試験の成績平均:全国平均以上 ・特待生入試:辞退率0%、推薦入試:受験倍率2.5倍・辞退率0%、一般入試:受験倍率10倍・辞退率3%、センターランク83%以上(前期・後期平均) ・広報活動:高校訪問のべ100校、入試説明会参加数5、出前講義のべ2校、オープンキャンパス参加者150人 ・アンケート:高校訪問 入試説明会 出前講座とも良好評価60%以上、オープンキャンパス評価4以上50% ・受験者数(受験倍率):760人(8倍)、志願者数(志願倍率):960人(10倍) ・研修会などFD活動への教員参加率:100% ・他の教員も使用できる教材、学修指導法の開発:実習中心に1年間5件以上、H23年度までに科目の80%に導入 ・リクルートシステムを確立し、システム利用者の就職率100% ・研究成果に応じて配分する研究費の割合:30%以上(毎年5%ずつ競争率=実績を増加) ・研究論文数:70件(英文誌)、学会発表:10件、特許・実用新案権件数:2件 ・科研費:年間50件以上(H23年度までに60件以上)、受託 共同研究・奨学寄付金:年間10件以上(H23までに15件以上) ・外部研究資金収入額:1億円 ・産学官連携件数:年2件以上(H23年度までに10件) ・e-learningシステムリカレント教育利用者:150人、満足度50%以上 収入額:2,400万円 ・市民公開講座受講者:500人、受講者満足度50%以上 ・留学生数:5人、学術交流件数:国内外各3件 ・市町村からの検診事業、データ入力、集計受託実績:5件 ・学生納付金収納率:100% ・患者紹介率:30%以上、患者満足度(対応サービス):普通より上レベル70% ・人件費削減率:法人化前の5%以上 ・水光熱費、コピー経費、その他経費削減率:4%
福岡県立大学	<p>【中期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の成績:良以上80%、学生による授業評価:4以上75%個人業績評価(授業活動):B評価以上75% ・大学院受験倍率:2.5倍以上(社会人受験者 受験倍率3倍以上) ・FD研修会等教員参加率:100%、他の教員も使用できる教材・学習方法の開発:年間2件 ・受験倍率4.5倍以上 辞退率15%以下、センターランク70%以上、特待生受験倍率:5倍以上 辞退率:0%以下 ・国家試験合格率:社会福祉士65%、精神保健福祉士65%、看護師100%、保健師95%、助産師100% ・オープンキャンパス参加者数及びアンケート:1,000名以上、良好評価75%、HPアクセス数:2,000件以上、入試説明会参加数及びアンケート:7会場良好評価75%以上、訪問高校数:及びアンケート:20校良好評価75%以上、出前講義数及びアンケート:20校良好評価75%以上、志願者数(志願倍率):1,334人(5.8倍)、受験者数(受験者)及びアンケート:1,035人(4.5倍) ・企業・病院・施設など就職先訪問数:60件以上 アンケート:良好評価75%以上、インターンシップ参加者数(率)10%増(H17年度比) アンケート:良好評価75%以上、キャリア支援講座参加者アンケート:良好評価75%以上 ・就職率:95%以上 ・就職後職場からの評価:良好80%以上 ・未就職者の就職支援:希望者全員、就職率:90%以上 ・付属研究所のプロジェクト数:毎年3件 ・外部研究資金獲得:年間30件、5,000万円 ・産学連携契約件数:年間2件 ・研究費に占める研究奨励交付金の割合:30% ・論文数:人間社会学部年間40件以上 看護学部年間50件以上、学会発表:人社5件以上 看護5件以上、特許実用新案件数:H23までに1件以上 ・健康教育 相談等事業数:年間10件以上、年間個別相談参加者:50人以上、年間集団教育参加者500人以上、アンケート評価:良好75%以上 ・キャリアアップ・リカレント講習会:年間5コース、シンポジウム開催:年間1回、公開講座:年間3コース いづれも参加者数は前年度以上、アンケート評価:75%良好評価 ・教員交流数:年6名以上、学術教育交流締結大学数:H23までに4大学以上(中国2韓国2)、交換留学生:H20年より年4名以上 ・人件費削減:法人化前の5%以上、光熱水費・通信費削減:通信費を5%(H17年度比) 	

他大学の数値目標(大学別)

資料4-3

法人化年度	中期目標	中期計画
H18	福岡女子大学	<p>【中期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生への成績:B以上60%、学生による授業評価:4以上50%、個人業績評価(授業活動):B以上75% TOEIC取得点数:650点以上80%(英文学科)、500点以上80%(国文学科)・(人間環境学部) 就職関連講座受講者数(率)を在学生の60%(H22迄) 公務員合格者数を6年間に50人以上 公私立教員採用者を6年間に50人以上 企業内定率を95%以上 インテリアプランナー資格試験合格率:30%以上 2級建築士資格合格率:20%以上 FD研修会等教員参加率:100% 教員評価:学生による授業評価→4以上を50%、個人業績評価→B以上75% 教員向け教育指導研修の実施:他の教員も使用出来る教材・学習指導法の開発6件(H.23までに) 受験倍率を3.5倍以上 辞退率(辞退者数/合格者数)を5年平均15%以下 在学生の平均成績:B以上60%(平均) 入試広報活動:高校訪問とアンケート年30校、良好評価80% <ul style="list-style-type: none"> 入試説明会件数とアンケート年15件以上、良好評価80% 出前講義及びアンケートで毎年15件以上、良好評価80% オープンキャンパス参加者数及びアンケートで毎年600人以上、良好評価80% 志願者数990人(倍率5.5倍)、受験者数630人(倍率3.5倍) 社会人入試の受験者数年平均2名(H.20~H.23) 補習授業の実施:H.18までに4科目開講 B以上60%(学生の成績)、4以上50%(学生による授業評価)、B以上75%(個人業績評価) 就職活動の支援:教職員の訪問企業数、毎年30社以上及びアンケート、良好評価80%以上 既卒者の就職支援回数を卒業1年以内の未就職者に1回以上の就職支援、就職決定率50%以上 就職率95%以上 共同研究件数を10%増加(H.18基準) 傾斜配分割合を学術研究費の30%に増加 論文数(査読付、学術書掲載分)を5件以上 学会発表(招待講演、シンポジスト招聘分)を年平均5件 特許・実用新案件数(取得済のもの)を5年間で1件、特許申請数を5年間で5件 科研費等交付件数、受託研究・共同研究・奨学寄附金件数を毎年15件以上 外部研究資金収入額を年間3,000万以上 産学官共同研究数を年10件以上 パンフレット 年2回、ホームページ改訂 年1回 小中学校、高等学校への体験授業回数、毎年10回 小中学校、高等学校への出張講座、体験授業のアンケート 良好評価70% 資格所得も含んだ再教育プログラムの提供 受講者数→クラスの学生数の1割程度上限の受け入れ及びアンケートで良好評価 60% 正規の授業開放による教育の実施 受講者数→クラスの学生数の1割程度上限の受け入れ及びアンケート良好評価60% 公開講座、年間2講座開講、各講座60名程度確保、アンケートで良好評価 70% 人材バンク開設、年間利用(学外合わせて)10件 講習会・防災訓練、年1回程度実施 学生納付金収納率を100% 学内の特別講座、有料公開講座による収入の確保:3講座以上(H.23までに) 印刷配布資料の20%削減、郵送料・電話代等の通信費10%削減、光熱水費をH16の実績の5%削減(H.23までに) 個人情報の保護のための講習会を年1回実施
	熊本県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 文学部英語英米文学科においてTOEIC 800点以上を目指す 管理栄養士国家試験は合格率90%以上目標 論文発表(5年間):文学部教員 2編相当以上 大学正規の授業を県民に公開「授業公開講座」を教員1人あたり1科目開講
	大分県立看護大学	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験支援(看護師、保健師及び助産師) 合格率100% 就職率 100%
H19	札幌医科大学	<ul style="list-style-type: none"> 学生の健康診断の受診率を100% 科学研究費補助金等の資金獲得:10%増(H.18比) 利用医療機関数を20%増加(H.18比) 医師等の総派遣件数が公的医療機関に対する派遣件数の占める割合を60%にする 道、市町村等の政策形成、健康づくり活動等への支援件数を20%増(H.18比) 公開講座等の開催件数を20%増(H.18比) 共同研究及び受託研究の実施件数を20%増(H.18比) 運営費交付金依存率を5ポイント縮減(H.18比) 公開講座の開催件数を30%増加(H.18比) 共同研究及び受託研究の実施件数の20%増加(H.18比) 診療収入による9億円の収支改善 平均在院日数(一般病棟) 17日以内、看護体制入院患者比率 平均100%、医薬材料費率(手術、化学療法を除く)22%、未収金削減を半減(H.17比) 正規職員100人相当分の業務の外部委託 運営費交付金依存率を5ポイント縮減(H.18比)
	福井県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 常勤役職員の人件費を5%削減(H.19比) 運営費交付金は前年度の1%削減
	静岡県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 新卒者の薬剤師国家試験の合格率90%以上を目指す 新卒者の管理栄養士国家試験の合格率100%を目指す 国際関係学部学生の60%以上が卒業までにTOEIC 600点以上、20%以上が730点以上獲得を目指す 新卒者の看護師国家試験の合格率は100%を目指す 初級システムアドミニストレーター試験希望者の合格率は平均合格率以上を目指す 保健師国家試験の合格率は全国平均以上を目指す 大学院での看護師国家試験、歯科衛生士国家試験の合格率を100%を目指す 公開講座は年間延べ16回以上開催し、人数700人以上の参加を目指す 全教員が外部資金獲得の増加に向けた取り組みを促す(取り組み率100%)
	愛知県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者の就職率を100%目標 全教員の20%以上が科学研究費補助金の申請をすることを旨とする(毎年) 学生納付金の納入率100%を目指す 看護師国家試験合格率 100%
	神戸市外国語大学	<ul style="list-style-type: none"> スペシャリスト育成の特別コースを設置し、4年生の半数以上がTOEFL(iBT)102、TOEIC900点以上獲得を目指す 施設・設備の充実 PC、1台あたりの利用学生数を5人に設定 年度内に作成した学内コンテンツの電子化率を30%に設定 新規の科学研究費補助金獲得件数を24件、継続も含み計30件
	奈良県立医科大学	<ul style="list-style-type: none"> 看護師の実質配置基準「7対1」の導入に向けての検討 全教員が、文部科学省科学研究費補助金の申請1件以上、採択件数、採択額を20増加を目指す 病床稼働率93%以上、平均在院日数(一般病棟)15日を目指す 人件費の5%削減 医薬材料費や医療用消耗品の削減(41%をめざす)
	島根県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 大学、大学院、短期大学部の入学定員充足率(入学者数/入学定員)を100%以上の維持を目指す 栄養士の免許を生かした就職率60%以上を目指す 卒業時の保育士資格と幼稚園教諭2種免許の併有率90%以上を目指す 保育士資格・幼稚園教諭2種免許とその他の資格(児童厚生員・訪問介護員)の併有率を50%以上を目指す TOEIC受験者の2年次の平均スコアを1年次の30点以上増加を目指す 公立大学(文系学部)の就職率で上位10位以内の維持を目指す 科学研究費補助金等外部資金の新規申請件数を(H.18比)1.5倍以上にする 科学研究費補助金等外部資金の採択件数を(H.18比)1.3倍以上にする

他大学の数値目標(大学別)

法人化年度	中期目標	中期計画
H19	岡山県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 看護師国家試験合格率100%、保健師国家試験合格率90%、助産師国家試験合格率100%を目指す 管理栄養士国家試験合格率95%を目指す 社会福祉士国家試験合格率80%を目指す 連携大学院方式の推進に取り組む(H.18 6件→最終年度 8件) 附属図書館での図書貸出し数の増加(年間で25,000冊以上) 卒業生の就職率を最終年度に97% アクティブキャンパス(移動型の情報発信基地)を年間100回以上開催 国際交流協定を締結する大学の拡大(H.18 3大学→最終年度 7大学) 外部研究資金等の獲得の増加(年間で) <ul style="list-style-type: none"> 保健福祉学部(現)21件→(最終年度)42件以上 情報工学部(現)23件→(最終年度)40件以上 デザイン学部(現)2件→(最終年度)4件以上 外部研究資金等の獲得件数の増加(年間で) 共同研究28件以上、受託研究14件以上、教育研究奨励寄付金25件以上
	県立広島大学	<ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士国家試験合格率90%目標 助産師国家試験合格率100%目標 看護師国家試験合格率100%目標 理学療法士国家試験合格率100%目標 作業療法士国家試験合格率100%目標 言語聴覚士国家試験合格率95%目標 精神保健福祉士国家試験合格率95%目標 社会福祉士国家試験合格率90%目標 きめ細やかな就職支援のためのキャリアセンターを設置し、学生のキャリアセンターに対する満足度を85%以上 就職率・進学率100%目標 退学率1%程度 外部資金の獲得件数を(H.18比)20%増加 公開講座等受講者数を6年間で3万人、満足度85%以上 保健医療福祉分野の専門職講座受講者数を6年間で5千人 外部研究資金、公開講座の受講料及び施設使用料等、自己収入の額を20%増加(H.18比)
	下関市立大学	<ul style="list-style-type: none"> 英語履修者はTOEIC650点以上を目指す 中国語履修者は中国語検定において1年終了時に4級、2年終了時に3級を目指す 朝鮮語履修者は、ハングル能力試験で1年終了時に5級、2年終了時に4級、卒業までに3級を目指す 朝鮮語履修者は、韓国語能力試験で1年終了時に1級、2年終了時に2級、卒業までに3級を目指す 外国語技能検定試験等で単位認定を受ける学生数をH.21までに1.5倍(H.18比)、H.24までに2倍(H.18比)を目指す 学内で年1回開催の各外国語の弁論大会の充実 大学実施のインターンシップを夏季休業期間中に(毎年1学年の定員の10%を上回る)50名程度の参加体制を作る 研修の新規受け入れ先の開拓、受け入れ人数の拡大(毎年1~2事業の拡大) 教育用情報処理器を300台体制にする
	宮崎公立大学	<ul style="list-style-type: none"> PACSを構築、その90%の項目で2段階レベルアップを達成 英語特化学生:730点、中国・韓国語全課程履修学生:検定中級取得 就職内定率:95%以上維持 志願倍率:6倍以上維持 受託研究費収入:平均100万円
H20	公立はこだて未来大学	<ul style="list-style-type: none"> 学生生活実態調査:年1回 学習目標達成度調査:年1回前期終了後 年1,000冊程度の和洋書購入計画策定
	青森県立保健大学	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験合格率:看護師・保健師・助産師・理学療法士・精神保健福祉士・管理栄養士100%、社会福祉士75% 大学院:1年多い長期在学を可 単位取得退学者の修了制度導入:博士前期課程者4年、後期課程者6年限度
	京都府立大学・府立医科大学	